

サンダイヤ オイルタンク 仕様書

型 式		分 類 記 号
KS2-500		VJ1
仕 様 明 細 書		
容 積	500 リットル	
使用燃料	灯油	
種 類	据置式(脚部固定)・屋外用	
本体材質、板厚	溶融亜鉛メッキ鋼板、2.0mm	
脚材質、板厚	亜鉛メッキパイプ、φ50.8×1.6mm	
補強材質、板厚	溶融亜鉛メッキ鋼板、3.2mm	
溶 接	シーム溶接、CO2アーク溶接	
塗 装	ポリエステル樹脂静電粉体塗装	
検 査	本体密閉後、49kPaの空気圧による全数検査	
包 装	PEシート、エアキャップ	
油 量 計	無指向性フロー上下表示式	
給 油 口	φ60mm	
通 気 管	φ25.4、40メッシュ金網付	
送 油 口	Rc3/4めねじ	
	ストレーナバルブ(R3/4×Rc1/2)	
	φ8鋼管用ジョイント付	
塗 装 色	本体・脚(ライトベージュ21)	
完 成 重 量	約81kg	
耐 震 設 計 条 件	<p>「局部震度法」により、以下の条件以内でご使用ください。 (建築設備耐震設計・施工指針2014)</p> <p>設計水平震度 K0 床に作用する水平震度、K0=通常は1.0(0.8~1.0) K1 建物の床応答倍率、(地上又は1階) K1=通常は1.0 Z 地域係数、Z=通常は1.0(0.7~1.0) β 本図オイルタンクの応答倍率、β=1.5 I 用途係数、I=通常は1.0(0.7~1.5) W=通常は441kg(タンク+灯油質量) あと施工接着式M12埋込長さ90mm以上、 基礎コンクリート設計強度1.8kN/cm²以上。</p>	
耐 震 性	<p>1G対応。以下の通り1G(980ガル)相当以上の試験に対応しています。 神戸海洋気象台観測波(1995.1.17)の 120%条件にて三軸加振の耐震性確認。 最大合成速度:135(カイン)(1成分で108) 最大合成加速度:1450(ガル)(1成分で1300)</p>	

注) タンクの設置については、据付説明書をご覧のうえ正しく設置してください。

